

令和4年度 基本評価調書①		所管部局	保健福祉部	所管課	医務薬務課		
施策名	薬物乱用防止対策の推進			施策コード	0409		
政策体系(中項目)	道民の命とくらしを守る安全・安心な社会づくり			政策体系コード	1(5)A		
関連重点戦略計画等	-					事務事業数	2
SDGs	-			総合判定	順調		
予算額(千円)	R4	7,209	R3	6,297	R2	6,923	

施策目標	薬物乱用防止の啓発推進、薬物依存者の社会復帰支援や再使用の防止のため関係機関等の連携強化、野生大麻等の除去作業、麻薬等医薬品の正規ルートからの不正流出を防止等するため医療機関等の立入検査及び指導の強化。					
現状と課題	薬物乱用は国内において深刻な社会問題であり、特に大麻事犯の検挙人員は毎年増加、年齢低下の傾向にある。そのため、関係機関・団体が連携し、青少年を対象にした薬物乱用防止教室を含む各種啓発活動等を実施しているほか、野生大麻の除去及び医療機関等に対する立入検査を実施している。					
前年度二次評価意見	-	対応状況(R4.3時点)				-

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	各種施策や計画等の策定・推進管理 啓発活動、薬物乱用防止教室の実施 野生大麻・不正けし除去作業 医療機関・麻薬等取扱者への立入検査・指導	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度薬物乱用防止対策実施要綱を策定。関係機関・団体が連携し、道民一体となって薬物乱用防止の取組みを実施を強化。 令和4年度青少年薬物乱用対策推進方針を策定。学校教育等の充実、広報啓発活動の徹底、取締等の強化と販売実態の把握による青少年の再乱用防止対策の充実強化 令和4年度野生大麻・不正けし撲滅運動方針を策定。野生大麻の発見や除去に努めるとともに、不正けし栽培の防止を図った。 【薬物乱用防止教室の推移(回)】 R2:42 R3:47 【野生大麻の除去の推移】 R2:466,916本、341箇所 R3:433,117本、350箇所 【不正けしの除去の推移】 R2:11,614本、1,314㎡ R3:5,908本、431.8㎡ 【麻薬診療施設等立入検査件数の推移(件)】 R1:1,256 R2:912 R3:899

連携状況	<ul style="list-style-type: none"> 道内30保健所と連携し、令和3年度は道内で433,117本の野生大麻を除去し、野生大麻除去効果を図り、道内にある4,743件の麻薬診療施設のうち、899件の立入検査を実施(全施設の19.0%)し、正規麻薬等不正流通にかかる監視指導を強化。(参考:全国の野生大麻除去本数497,463本のうち、87%が北海道) 【麻薬診療施設の件数】 R2:4,702 R3:4,743
緊急性優先性	薬物事犯のうち、大麻事犯にかかる件数人員は年々増加傾向(特に特に若年層(30歳以下))であり、薬物乱用防止教室等の啓発活動を積極的に実施している。 【大麻事犯に係る件数人員(人)】(全国)R2:5,260 R3:5,783(道内)R2:277 R3:236 【若年層(30歳以下)の検挙人員(人)】(全国)R2:3,511 R3:3,934(道内)R2:170 R3:116

令和4年度 基本評価調書②	施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	0409
----------------------	------------	-------------	--------------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	減少	件	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
刑法犯認知件数		目標値	25,459	23,607	18,467	-	100.2%	A
		実績値	23,607	18,467	18,429			
設定理由	道民の命と暮らしを守る安全・安心な社会づくりの観点から、薬物事犯を含む犯罪防止対策等の取り組みの成果を図る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
薬物犯罪を含む刑法犯認知件数について把握に努めている。 【大麻事犯に係る件数人員（人）】（全国）R1:4570 R2:5,260 R3:5,783（道内）R1:176 R2:277 R3:236								

指標名②	増加	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
重要犯罪の検挙率		目標値	76.6	79	85.0		122.1%	A
		実績値	88.1	90	103.8			
設定理由	道民の命と暮らしを守る安全・安心な社会づくりの観点から、薬物乱用が端緒となる二次犯罪を含む重要犯罪防止対策等の取り組みの成果を図る指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
薬物乱用が端緒となる二次犯罪として重要犯罪が起きる可能性もあることから、重要犯罪の検挙率の把握に努めている。 【重要犯罪検挙件数/認知件数】R1:259/301 R2:276/306 R3:303/292								

指標名③	維持		R1年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
薬物乱用防止啓発活動を行っている北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会数		目標値	21	21	21		100.0%	A
		実績値	21	21	21			
設定理由	全道域で薬物乱用防止に係る啓発活動を行うため、道内21医療圏域ごとに指導員地区協議会を設置							
分析（主な取組と成果）								
全道域において薬物乱用防止に対する啓発活動を行っていくために圏域ごとに指導員を確保し、各圏域で啓発活動を実施するとともに、指導員の知識向上のため、各地区協議会から薬物乱用防止関係の研修会等の案内を发出。 【指導員の人数の推移（人）】R1:387 R2:388 R3:388								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	A	総合判定	順調
------	---	--------	---	------	---	------	----

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	薬物事犯の中でも大麻事犯にかかる件数人員の増加が毎年更新されており、大麻にかかる犯罪傾向が若年化している（検挙者数のうち6割が30歳未満）ことから、全道域で確保している薬物乱用防止指導員等を活用し、若年層に対する薬物乱用防止啓発活動を引き続き実施していく。
	②	
	③	

令和4年度 補助指標調書①	施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	0409
---------------	-----	-------------	-------	------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	維持	%	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
麻薬取扱施設への監視指導数		目標値	30	30	30	-	63.3%	D
		実績値	26.6	19.4	19			
設定理由	医療麻薬の正規ルートからの不正流出等を防ぐため							
分析（主な取組と成果）								
正規ルートからの不正流出防止等のため、医療機関、薬局等の立入検査・指導を強化した。								

補助指標名②			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	薬物乱用防止対策の推進	施策コード	0409
-----------------------	-----	-------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
0301		一般	麻薬等取締費	・麻薬関係法令等の周知徹底及び監視指導等に関する事業 ・野生大麻の除去事業及び啓発活動事業	医務薬務課		4,496		0.7	5.7	6.4	54,314	①	改善(取組分析)	
0302		一般	覚せい剤乱用防止啓発事業費	・薬物乱用防止等啓発事業 ・医療用麻薬等適正使用の目的に関する研修事務	医務薬務課		2,713	2,713	0.6	3.1	3.7	31,514	①	改善(取組分析)	
計						0	7,209	2,713	1.3	8.8	10.1				